

山本幸三大臣 久米島視察



山本幸三まち・ひと・しごと創生担当大臣(当時)が7月23日に久米島を訪れ、久米島高校魅力化事業や「久米島モデル」の実現に取り組む海洋深層水関連施設などを視察しました。

高校魅力化事業の視察では、じんぶん館を訪れ概要説明を受けた後、離島留学生との意見交換を行いました。また、海洋深層水関係施設の見学では、海洋深層水の利用状況などの説明や海洋温度差発電や研究の意義などについて説明しました。

南国の自然や文化を満喫

第6回佐賀市・久米島町中学生交流会～夏の交流～として、佐賀市の中学生16人が8月4日から3日間久米島町へ来島し、本町の中学生らと交流しました。

比屋定バンタや五枝の松などの島内観光のほか、ハテの浜での海水浴や久米島紬コースター作りを体験。また、佐賀と関わりのある海洋温度差発電を見学するなど、有意義な交流となりました。

次は12月に、久米島の中学生が冬の交流で佐賀市へ訪問します。



JA共済より母子手帳ケースの寄贈

JA久米島支店より「オリジナルアンパンマン母子手帳ケース」50冊の寄贈がありました。これは、JA共済の地域貢献活動の一環として、次世代を担う子どもの誕生を祝福し、安心して子育てができる環境づくりの支援を目的としています。

ケースは、福祉課窓口にて妊娠届出時に母子健康手帳とともに交付・配布しています。(10月頃追加で35冊も寄贈予定)



沖縄水産高校インターンシップで福祉交流

8月2日から4日までの3日間、沖縄水産高校総合学科福祉サービス系列の5名が久米島を訪れ、いふみや大田事業所にてインターンシップを行いました。生徒達の訪問は昨年度に引き続き2年目。若い世代が福祉に目を向け、幅広い福祉の視点を身に着けられるようにという思いから、ゆいまーるの精神が色濃く残る久米島での福祉交流が実現。今後は「お互いに行き来し高めあえたら」と夢が膨らみます。



ゆんたく市場へ出かけよう

地域との連携

大岳小学校とコラボして1、2年生が頑張っ育てた野菜を「大岳ちびっこふぁーむ」として山里ゆんたく市場で販売しています。

今後も地域との連携を推進していきます。

商品開発

今まで廃棄していた出荷できない傷物の果物を使って、商品開発をしてみました。開発したものは、試しに山里ゆんたく市場で販売しています。

最近、美味しいアイスをつくってみました。



さとうきび生産の拡大と単収向上をめざして

8月2日(水)町役場にて糖業懇話会が開催されました。県糖業農産課長はじめ参加した関係者は昨年度の実績やなどを確認し合い、農業改良普及員の西田氏より久米島のさとうきびの栽培状況について説明を受けました。また、午後からは会場を具志川改善センターに移し、さとうきび夏植え推進大会を開催。県農業研究センターの比屋根氏より雑草防除の講演等が行われ、その後ほ場にてさとうきび苗の植え付け機械の実演も行われました。



久米島ファンが一同に集う

久米島のファン80名が参加し「球美友結の会」が7月17日に中野サンプラザホテル(東京都)で行われました。今年で2回目となる同会には、大田町長をはじめ久米島から10人が参加し交流を深めました。

本会は、久米島観光大使の大久保さんや森さんを中心とする「球美友結の会事務局」が中心となり開催。久米島の人と観光客、久米島ファン同士をつなげる役割を担っており、今後の更なる発展が期待されます。



地域おこし協力隊を紹介します!

前住所:山梨県甲府市 趣味:料理、旅行

7月より地域おこし協力隊員として活動している小宮山純と申します。農産物の地産地消事業を担当しており、農産物直売所(山里ゆんたく市場)にて活動を行っています。久米島で作られる美味しい野菜や果物をもっと沢山の方に食べて頂けることを目指して活動していきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

